

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	幼稚園維持修繕					所管	教育委員会 庶務課		
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 年度	
		[小 柱]							[終了予定] - 年度	
		[施 策]								
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区教育委員会事務局処務規則					
	事業対象	直接的な対象:区立幼稚園 最終的な対象:区立幼稚園在園園児								
	事業目的	幼稚園施設の維持と保育環境の充実を図るため、幼稚園施設の計画的かつ緊急的な工事を実施する。								
事業内容	幼稚園施設を良好に維持管理するため、ガラス取替・園庭一部補修・防錆塗装・トイレ等排水つまりなどの応急復旧工事を実施する。									
委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	小破修繕等件数		件	—	34	35	32		
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)					4,090	6,013	7,096		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,420	1,671	1,954		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				4,090	6,013	7,096		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				5,510	7,684	9,050		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				5,510	7,684	9,050				
前回評価から改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	設置者である区の責務として工事を実施し、施設環境を補修・改善していく必要がある。							
	効率性	3	緊急的な小破修繕が主なものであり、安全性や緊急性を第一に、工事の優先順位を決定し、必要に応じて工事方法の見直しや繰り延べ等を行い経費節減に努めている。							
	手段の適切性	3	施設の老朽化対策として、予防保全型の「施設保全」に対し、各園で日々発生する設備の不具合については「事後保全」型として早急、適切に現状復旧している。							
	目的達成度	3	幼稚園施設の緊急工事に適切に対応している。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
限られた財源の中、幼稚園施設の維持管理に努めている。							維持			